

Q001 関係形成 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、ラポールの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 相手の感情や存在を否定せず、まずそのまま受け止める態度。
- B. 支援者自身の価値観、感情、反応傾向を理解すること。
- C. 『どのように』『何が』など、相手が自由に答えやすい質問。
- D. 支援者と利用者の間にある信頼関係や安心できる関係性。

答え・解説

正答：D. 支援者と利用者の間にある信頼関係や安心できる関係性。

超簡単な解説：ラポールは、支援者と利用者の間にある信頼関係や安心できる関係性。

Q002 関係形成 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、受容を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 怒りの訴えに対して、理由を決めつけず『つらかったのですね』と受け止める。
- B. 約束した時間を守り、相手の話を遮らずに聴く。
- C. 『今日はどのように過ごしたいですか』と尋ねる。
- D. 苦手意識のある利用者に対し、自分の感情を振り返って関わりを調整する。

答え・解説

正答：A. 怒りの訴えに対して、理由を決めつけず『つらかったのですね』と受け止める。

超簡単な解説：受容では、怒りの訴えに対して、理由を決めつけず『つらかったのですね』と受け止める。この対応が適切である。

Q003 関係形成 | 4択 | 標準

問題

介護実践で共感を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 共感は相手が理解されたと感じる基盤になるため。
- B. 過度な私的関係は依存や不公平、トラブルにつながるため。
- C. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- D. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。

答え・解説

正答：A. 共感は相手が理解されたと感じる基盤になるため。

超簡単な解説：共感を重視する理由は、共感は相手が理解されたと感じる基盤になるため。

Q004 対人援助 | 4択 | 応用

問題

Dさんは傾聴に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、相手のペースを待ち、うなずきや相づちで聴いていることを示す。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、相手のペースを待ち、うなずきや相づちで聴いていることを示す。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、傾聴の観点から本人中心に対応する。

Q005 対人援助 | 4択 | 標準

問題

自己覚知の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 苦手意識のある利用者に対し、自分の感情を振り返って関わりを調整する。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：自己覚知では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 援助関係 | 4択 | 標準

問題

バウンダリーに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 意思疎通 | 4択 | 基礎

問題

非言語コミュニケーションに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 面接技術 | 4択 | 応用

問題

開かれた質問を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、閉じられた質問の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 約束を破る、秘密を漏らす、人格を否定するなど、安心感を失わせる対応。
- B. 支援者の都合ではなく、本人の意思・価値観・生活を中心に関わること。
- C. 『はい・いいえ』や短い答えで確認できる質問。
- D. 表情、視線、姿勢、声の調子、距離など言葉以外で伝わる情報。

答え・解説

正答：C. 『はい・いいえ』や短い答えで確認できる質問。

超簡単な解説：閉じられた質問は、『はい・いいえ』や短い答えで確認できる質問。

Q010 面接技術 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、沈黙の尊重を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 沈黙があってもすぐ話題を変えず、待つ姿勢を示す。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 苦手意識のある利用者に対し、自分の感情を振り返って関わりを調整する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：A. 沈黙があってもすぐ話題を変えず、待つ姿勢を示す。

超簡単な解説：沈黙の尊重では、沈黙があってもすぐ話題を変えず、待つ姿勢を示す。この対応が適切である。

Q011 対人援助 | 4択 | 標準

問題

介護実践で利用者中心の関係を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の考えや感情を広く把握しやすいため。
- B. 安全確認は医療職だけが行うため。
- C. 沈黙は拒否だけでなく、考える時間である場合があるため。
- D. 援助関係は管理ではなく生活支援の関係だから。

答え・解説

正答：D. 援助関係は管理ではなく生活支援の関係だから。

超簡単な解説：利用者中心の関係を重視する理由は、援助関係は管理ではなく生活支援の関係だから。

Q012 関係形成 | 4択 | 応用

問題

Fさんは信頼関係を損なう対応に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人の訴えを受け止め、できない約束はせず、約束を変更する場合は理由を説明する。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、できない約束はせず、約束を変更する場合は理由を説明する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、信頼関係を損なう対応の観点から本人中心に対応する。

Q013 関係形成 | 4択 | 標準

問題

ラポールに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q014 関係形成 | 4択 | 基礎

問題

受容に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q015 関係形成 | 4択 | 応用

問題

共感を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q016 対人援助 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、傾聴の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 支援者自身の価値観、感情、反応傾向を理解すること。
- B. 相手の話を注意深く聴き、言葉・表情・沈黙を含めて理解しようとする。
- C. 相手が考えたり感情を整理したりする時間として沈黙を受け止めること。
- D. 約束を破る、秘密を漏らす、人格を否定するなど、安心感を失わせる対応。

答え・解説

正答：B. 相手の話を注意深く聴き、言葉・表情・沈黙を含めて理解しようとする。

超簡単な解説：傾聴は、相手の話を注意深く聴き、言葉・表情・沈黙を含めて理解しようとする。

Q017 対人援助 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、自己覚知を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 怒りの訴えに対して、理由を決めつけず『つらかったんですね』と受け止める。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 苦手意識のある利用者に対し、自分の感情を振り返って関わりを調整する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：C. 苦手意識のある利用者に対し、自分の感情を振り返って関わりを調整する。

超簡単な解説：自己覚知では、苦手意識のある利用者に対し、自分の感情を振り返って関わりを調整する。この対応が適切である。

Q018 援助関係 | 4択 | 標準

問題

介護実践でバウンダリーを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 過度な私的関係は依存や不公平、トラブルにつながるため。
- B. 安全確認は医療職だけが行うため。
- C. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいから。
- D. 援助関係は管理ではなく生活支援の関係だから。

答え・解説

正答：A. 過度な私的関係は依存や不公平、トラブルにつながるため。

超簡単な解説：バウンダリーを重視する理由は、過度な私的関係は依存や不公平、トラブルにつながるため。

Q019 意思疎通 | 4択 | 応用

問題

Aさんは非言語コミュニケーションに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、言葉では『大丈夫』でも表情がこわばる場合、不安の有無を確認する。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、言葉では『大丈夫』でも表情がこわばる場合、不安の有無を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、非言語コミュニケーションの観点から本人中心に対応する。

Q020 面接技術 | 4択 | 標準

問題

開かれた質問の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 『今日はどのように過ごしたいですか』と尋ねる。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：開かれた質問では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q021 面接技術 | 4択 | 標準

問題

閉じられた質問に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

沈黙の尊重に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 対人援助 | 4択 | 応用

問題

利用者中心の関係を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 関係形成 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、信頼関係を損なう対応の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 『どのように』『何が』など、相手が自由に答えやすい質問。
- B. 支援者自身の価値観、感情、反応傾向を理解すること。
- C. 相手が考えたり感情を整理したりする時間として沈黙を受け止めること。
- D. 約束を破る、秘密を漏らす、人格を否定するなど、安心感を失わせる対応。

答え・解説

正答：D. 約束を破る、秘密を漏らす、人格を否定するなど、安心感を失わせる対応。

超簡単な解説：信頼関係を損なう対応は、約束を破る、秘密を漏らす、人格を否定するなど、安心感を失わせる対応。

Q025 関係形成 | 4択 | 標準

問題

介護実践でラポールを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 過度な私的関係は依存や不公平、トラブルにつながるため。
- B. 支援者の無自覚な偏見や感情が援助関係に影響するため。
- C. 安全確認は医療職だけが行うため。
- D. 信頼関係があるほど、本人は不安や希望を表明しやすくなるため。

答え・解説

正答：D. 信頼関係があるほど、本人は不安や希望を表明しやすくなるため。

超簡単な解説：ラポールを重視する理由は、信頼関係があるほど、本人は不安や希望を表明しやすくなるため。

Q026 関係形成 | 4択 | 応用

問題

Bさんは受容に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人の訴えを受け止め、怒りの訴えに対して、理由を決めつけず『つらかったのですね』と受け止める。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、怒りの訴えに対して、理由を決めつけず『つらかったのですね』と受け止める。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、受容の観点から本人中心に対応する。

Q027 関係形成 | 4択 | 標準

問題

共感の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 『不安に感じているのですね』と相手の感情を確認する。

答え・解説

正答：A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：共感では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q028 対人援助 | 4択 | 標準

問題

傾聴に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q029 対人援助 | 4択 | 基礎

問題

自己覚知に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q030 援助関係 | 4択 | 応用

問題

バウンダリーを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q031 意思疎通 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、非言語コミュニケーションの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 表情、視線、姿勢、声の調子、距離など言葉以外で伝わる情報。
- B. 約束を破る、秘密を漏らす、人格を否定するなど、安心感を失わせる対応。
- C. 相手が考えたり感情を整理したりする時間として沈黙を受け止めること。
- D. 『はい・いいえ』や短い答えで確認できる質問。

答え・解説

正答：A. 表情、視線、姿勢、声の調子、距離など言葉以外で伝わる情報。

超簡単な解説：非言語コミュニケーションは、表情、視線、姿勢、声の調子、距離など言葉以外で伝わる情報。

Q032 面接技術 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、開かれた質問を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 相手のペースを待ち、うなずきや相づちで聴いていることを示す。
- B. 『今日はどのように過ごしたいですか』と尋ねる。
- C. 約束した時間を守り、相手の話を遮らずに聴く。
- D. 言葉では『大丈夫』でも表情がこわばる場合、不安の有無を確認する。

答え・解説

正答：B. 『今日はどのように過ごしたいですか』と尋ねる。

超簡単な解説：開かれた質問では、『今日はどのように過ごしたいですか』と尋ねる。この対応が適切である。

Q033 面接技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践で閉じられた質問を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人のできる力より、すべて介助することが自立支援になるため。
- B. 支援者の無自覚な偏見や感情が援助関係に影響するため。
- C. 安全確認は医療職だけが行うため。
- D. 事実確認や安全確認を短時間で行えるため。

答え・解説

正答：D. 事実確認や安全確認を短時間で行えるため。

超簡単な解説：閉じられた質問を重視する理由は、事実確認や安全確認を短時間で行えるため。

Q034 面接技術 | 4択 | 応用

問題

Dさんは沈黙の尊重に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人の訴えを受け止め、沈黙があってもすぐ話題を変えず、待つ姿勢を示す。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、沈黙があってもすぐ話題を変えず、待つ姿勢を示す。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、沈黙の尊重の観点から本人中心に対応する。

Q035 対人援助 | 4択 | 標準

問題

利用者中心の関係の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 職員の予定を押しつけず、本人の希望を確認して調整する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：利用者中心の関係では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q036 関係形成 | 4択 | 標準

問題

信頼関係を損なう対応に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q037 関係形成 | 4択 | 応用

問題

ラポールを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q038 関係形成 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、受容の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 支援者と利用者の適切な心理的・職業的境界。
- B. 『どのように』『何が』など、相手が自由に答えやすい質問。
- C. 相手の感情や存在を否定せず、まずそのまま受け止める態度。
- D. 相手が考えたり感情を整理したりする時間として沈黙を受け止めること。

答え・解説

正答：C. 相手の感情や存在を否定せず、まずそのまま受け止める態度。

超簡単な解説：受容は、相手の感情や存在を否定せず、まずそのまま受け止める態度。

Q039 関係形成 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、共感を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 『不安に感じているのですね』と相手の感情を確認する。
- C. 痛みの有無など緊急確認では『今、胸が痛いですか』と尋ねる。
- D. 言葉では『大丈夫』でも表情がこわばる場合、不安の有無を確認する。

答え・解説

正答：B. 『不安に感じているのですね』と相手の感情を確認する。

超簡単な解説：共感では、『不安に感じているのですね』と相手の感情を確認する。この対応が適切である。

Q040 対人援助 | 4択 | 標準

問題

介護実践で傾聴を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 信頼関係があるほど、本人は不安や希望を表明しやすくなるため。
- B. 過度な私的関係は依存や不公平、トラブルにつながるため。
- C. 本人の本当のニーズは急かすと表面化しにくいから。
- D. 本人の考えや感情を広く把握しやすいから。

答え・解説

正答：C. 本人の本当のニーズは急かすと表面化しにくいから。

超簡単な解説：傾聴を重視する理由は、本人の本当のニーズは急かすと表面化しにくいから。

Q041 対人援助 | 4択 | 応用

問題

Eさんは自己覚知に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 本人の訴えを受け止め、苦手意識のある利用者に対し、自分の感情を振り返って関わりを調整する。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、苦手意識のある利用者に対し、自分の感情を振り返って関わりを調整する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、自己覚知の観点から本人中心に対応する。

Q042 援助関係 | 4択 | 標準

問題

パウンダリーの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 個人的な金銭貸借や過度な私的関係を避け、職務上の関係を保つ。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：パウンダリーでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q043 意思疎通 | 4択 | 標準

問題

非言語コミュニケーションに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q044 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

開かれた質問に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q045 面接技術 | 4択 | 応用

問題

閉じられた質問を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q046 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、沈黙の尊重の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 『どのように』『何が』など、相手が自由に答えやすい質問。
- B. 相手が考えたり感情を整理したりする時間として沈黙を受け止めること。
- C. 表情、視線、姿勢、声の調子、距離など言葉以外で伝わる情報。
- D. 支援者と利用者の間にある信頼関係や安心できる関係性。

答え・解説

正答：B. 相手が考えたり感情を整理したりする時間として沈黙を受け止めること。

超簡単な解説：沈黙の尊重は、相手が考えたり感情を整理したりする時間として沈黙を受け止めること。

Q047 対人援助 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、利用者中心の関係を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 痛みの有無など緊急確認では『今、胸が痛いですか』と尋ねる。
- B. 相手のペースを待ち、うなずきや相づちで聴いていることを示す。
- C. 職員の予定を押しつけず、本人の希望を確認して調整する。
- D. 言葉では『大丈夫』でも表情がこわばる場合、不安の有無を確認する。

答え・解説

正答：C. 職員の予定を押しつけず、本人の希望を確認して調整する。

超簡単な解説：利用者中心の関係では、職員の予定を押しつけず、本人の希望を確認して調整する。この対応が適切である。

Q048 関係形成 | 4択 | 標準

問題

介護実践で信頼関係を損なう対応を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 信頼低下は支援拒否や情報不足につながるため。
- B. 沈黙は拒否だけでなく、考える時間である場合があるため。
- C. 事実確認や安全確認を短時間で行えるため。
- D. 本人の本当のニーズは急かすと表面化しにくいから。

答え・解説

正答：A. 信頼低下は支援拒否や情報不足につながるため。

超簡単な解説：信頼関係を損なう対応を重視する理由は、信頼低下は支援拒否や情報不足につながるため。

Q049 関係形成 | 4択 | 標準

問題

ラポールの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 約束した時間を守り、相手の話を遮らずに聴く。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：ラポールでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q050 関係形成 | 4択 | 標準

問題

受容に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q051 関係形成 | 4択 | 基礎

問題

共感に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q052 対人援助 | 4択 | 応用

問題

傾聴を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q053 対人援助 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、自己覚知の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 相手の感情や存在を否定せず、まずそのまま受け止める態度。
- B. 相手が考えたり感情を整理したりする時間として沈黙を受け止めること。
- C. 支援者と利用者の適切な心理的・職業的境界。
- D. 支援者自身の価値観、感情、反応傾向を理解すること。

答え・解説

正答：D. 支援者自身の価値観、感情、反応傾向を理解すること。

超簡単な解説：自己覚知は、支援者自身の価値観、感情、反応傾向を理解すること。

Q054 援助関係 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、バウンダリーを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 沈黙があってもすぐ話題を変えず、待つ姿勢を示す。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 個人的な金銭貸借や過度な私的関係を避け、職務上の関係を保つ。
- D. 痛みの有無など緊急確認では『今、胸が痛いですか』と尋ねる。

答え・解説

正答：C. 個人的な金銭貸借や過度な私的関係を避け、職務上の関係を保つ。

超簡単な解説：バウンダリーでは、個人的な金銭貸借や過度な私的関係を避け、職務上の関係を保つ。この対応が適切である。

Q055 意思疎通 | 4択 | 標準

問題

介護実践で非言語コミュニケーションを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 過度な私的関係は依存や不公平、トラブルにつながるため。
- B. 信頼低下は支援拒否や情報不足につながるため。
- C. 沈黙は拒否だけでなく、考える時間である場合があるため。
- D. 言葉に出ない感情や体調変化を把握できるため。

答え・解説

正答：D. 言葉に出ない感情や体調変化を把握できるため。

超簡単な解説：非言語コミュニケーションを重視する理由は、言葉に出ない感情や体調変化を把握できるため。

Q056 面接技術 | 4択 | 応用

問題

Bさんは開かれた質問に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、『今日はどのように過ごしたいですか』と尋ねる。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、『今日はどのように過ごしたいですか』と尋ねる。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、開かれた質問の観点から本人中心に対応する。

Q057 面接技術 | 4択 | 標準

問題

閉じられた質問の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 痛みの有無など緊急確認では『今、胸が痛いですか』と尋ねる。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：閉じられた質問では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q058 面接技術 | 4択 | 標準

問題

沈黙の尊重に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q059 対人援助 | 4択 | 基礎

問題

利用者中心の関係に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q060 関係形成 | 4択 | 応用

問題

信頼関係を損なう対応を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q061 関係形成 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、ラポールを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 約束した時間を守り、相手の話を遮らずに聴く。
- B. 言葉では『大丈夫』でも表情がこわばる場合、不安の有無を確認する。
- C. 職員の予定を押しつけず、本人の希望を確認して調整する。
- D. 苦手意識のある利用者に対し、自分の感情を振り返って関わりを調整する。

答え・解説

正答：A. 約束した時間を守り、相手の話を遮らずに聴く。

超簡単な解説：ラポールでは、約束した時間を守り、相手の話を遮らずに聴く。この対応が適切である。

Q062 関係形成 | 4択 | 標準

問題

介護実践で受容を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。
- B. 沈黙は拒否だけでなく、考える時間である場合があるため。
- C. 信頼低下は支援拒否や情報不足につながるため。
- D. 感情を否定されると防衛的になり、関係形成が難しくなるため。

答え・解説

正答：D. 感情を否定されると防衛的になり、関係形成が難しくなるため。

超簡単な解説：受容を重視する理由は、感情を否定されると防衛的になり、関係形成が難しくなるため。

Q063 関係形成 | 4択 | 応用

問題

Cさんは共感に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、『不安を感じているのですね』と相手の感情を確認する。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、『不安を感じているのですね』と相手の感情を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、共感の観点から本人中心に対応する。

Q064 対人援助 | 4択 | 標準

問題

傾聴の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 相手のペースを待ち、うなずきや相づちで聴いていることを示す。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：傾聴では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q065 対人援助 | 4択 | 標準

問題

自己覚知に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q066 援助関係 | 4択 | 基礎

問題

バウンダリーに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q067 意思疎通 | 4択 | 応用

問題

非言語コミュニケーションを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q068 面接技術 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、開かれた質問の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 支援者と利用者の間にある信頼関係や安心できる関係性。
- B. 『どのように』『何が』など、相手が自由に答えやすい質問。
- C. 相手が考えたり感情を整理したりする時間として沈黙を受け止めること。
- D. 支援者の都合ではなく、本人の意思・価値観・生活を中心に関わること。

答え・解説

正答：B. 『どのように』『何が』など、相手が自由に答えやすい質問。

超簡単な解説：開かれた質問は、『どのように』『何が』など、相手が自由に答えやすい質問。

Q069 面接技術 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、閉じられた質問を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 相手のペースを待ち、うなずきや相づちで聴いていることを示す。
- C. 痛みの有無など緊急確認では『今、胸が痛いですか』と尋ねる。
- D. 『今日はどのように過ごしたいですか』と尋ねる。

答え・解説

正答：C. 痛みの有無など緊急確認では『今、胸が痛いですか』と尋ねる。

超簡単な解説：閉じられた質問では、痛みの有無など緊急確認では『今、胸が痛いですか』と尋ねる。この対応が適切である。

Q070 面接技術 | 4択 | 標準

問題

介護実践で沈黙の尊重を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人のできる力より、すべて介助することが自立支援になるため。
- B. 共感相手は理解されたと感じる基盤になるため。
- C. 沈黙は拒否だけでなく、考える時間である場合があるため。
- D. 安全確認は医療職だけが行うため。

答え・解説

正答：C. 沈黙は拒否だけでなく、考える時間である場合があるため。

超簡単な解説：沈黙の尊重を重視する理由は、沈黙は拒否だけでなく、考える時間である場合があるため。

Q071 対人援助 | 4択 | 応用

問題

Eさんは利用者中心の関係に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 本人の訴えを受け止め、職員の予定を押しつけず、本人の希望を確認して調整する。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、職員の予定を押しつけず、本人の希望を確認して調整する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、利用者中心の関係の観点から本人中心に対応する。

Q072 関係形成 | 4択 | 標準

問題

信頼関係を損なう対応の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. できない約束はせず、約束を変更する場合は理由を説明する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：信頼関係を損なう対応では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q073 関係形成 | 4択 | 基礎

問題

ラポールに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q074 関係形成 | 4択 | 応用

問題

受容を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q075 関係形成 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、共感の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 相手の話を注意深く聴き、言葉・表情・沈黙を含めて理解しようとする。
- B. 表情、視線、姿勢、声の調子、距離など言葉以外で伝わる情報。
- C. 支援者の都合ではなく、本人の意思・価値観・生活を中心に関わること。
- D. 相手の立場や感情を理解しようとし、その理解を言葉や態度で返すこと。

答え・解説

正答：D. 相手の立場や感情を理解しようとし、その理解を言葉や態度で返すこと。

超簡単な解説：共感とは、相手の立場や感情を理解しようとし、その理解を言葉や態度で返すこと。

Q076 対人援助 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、傾聴を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 相手のペースを待ち、うなずきや相づちで聴いていることを示す。
- C. 沈黙があってもすぐ話題を変えず、待つ姿勢を示す。
- D. 言葉では『大丈夫』でも表情がこわばる場合、不安の有無を確認する。

答え・解説

正答：B. 相手のペースを待ち、うなずきや相づちで聴いていることを示す。
超簡単な解説：傾聴では、相手のペースを待ち、うなずきや相づちで聴いていることを示す。この対応が適切である。

Q077 対人援助 | 4択 | 標準

問題

介護実践で自己覚知を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 安全確認は医療職だけが行うため。
- B. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。
- C. 支援者の無自覚な偏見や感情が援助関係に影響するため。
- D. 言葉に出ない感情や体調変化を把握できるため。

答え・解説

正答：C. 支援者の無自覚な偏見や感情が援助関係に影響するため。
超簡単な解説：自己覚知を重視する理由は、支援者の無自覚な偏見や感情が援助関係に影響するため。

Q078 援助関係 | 4択 | 応用

問題

Fさんはバウンダリーに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 本人の訴えを受け止め、個人的な金銭貸借や過度な私的関係を避け、職務上の関係を保つ。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、個人的な金銭貸借や過度な私的関係を避け、職務上の関係を保つ。
超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、バウンダリーの観点から本人中心に対応する。

Q079 意思疎通 | 4択 | 標準

問題

非言語コミュニケーションの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 言葉では『大丈夫』でも表情がこわばる場合、不安の有無を確認する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
超簡単な解説：非言語コミュニケーションでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q080 面接技術 | 4択 | 標準

問題

開かれた質問に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。